

渡島管内 北斗市立萩野小学校

1 学習活動の概要

伝統芸能の鑑賞、博物館の見学及び伝統料理の試食体験を通して、アイヌの人たちの歴史や文化等について理解を深めました。また、社会科との関連を図り、松前藩とアイヌの人たちとの関わりについて学習を広げました。身近な地域での歴史的な出来事を知り、自分たちの生まれ育った地域への関心を高めるとともに、郷土を愛する心を育む教育活動を行いました。

2 取組の様子

(1) 事前の学習

「ウポポイ」に関するパンフレット、書籍及びインターネットを活用した調べ学習を行うことで、アイヌの人たちの歴史や文化等について理解を深めました。

また、修学旅行において国立アイヌ民族博物館を活用して調べたいことを旅行のしおりに掲載しました。



【国立アイヌ民族博物館の見学】

(2) 体験活動

国立アイヌ民族博物館で伝統的家屋を見学し、学芸員からアイヌの人たちの家でのきまりごとやカムイとの関わりについての説明を受けました。

また、伝統芸能の見学を通して、アイヌの人たちの歴史・文化について、より一層理解を深めました。

帰校後、自分たちが調べたアイヌの人たちの伝統料理の試食体験を行い、食文化について理解を深めるとともに、アイヌ語の料理名について関心を高めました。



【第5・6学年合同の発表会】

(3) 事後の学習

学んだことを班ごとに壁新聞としてまとめ、第5・6学年合同の発表会を行うことにより、アイヌの人たちの歴史や文化等について、異なる視点で学ぶことができ、アイヌの人たちの歴史や文化等について、より一層興味・関心を高めました。

また、社会科との関連を図り、「シャクシャインの戦い」について詳しく調べることで、自分たちの住む地域とアイヌの人たちとの関連について理解を深めました。

3 児童の感想等

- ・伝統料理の試食体験でシカの肉を初めて食べました。歯ごたえがあって、おいしかったです。
- ・伝統芸能の鑑賞では、「鶴の舞」が心に残りました。また、国立アイヌ民族博物館の見学を通して、アイヌの人たちが動物をカムイ（神）と考えて、大切にしていることがよく分かりました。